伊藤 道子 教授
博士（看護学）
Michiko Ito
michiko.ito@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword 医療関連感染、感染対策、看護ケア、病院管理

プロフィール
2007年　千葉大学大学院看護学研究科後期博士課程　修了
2009年　北里大学看護学部看護学科　准教授
2009年　北里大学看護キャリア開発・研究センター認定看護師教育課程　感染管理　教員（兼務）
2023年　公立大学法人公立小松大学保健医療学部看護学科　教授

研究分野
感染看護学、感染管理、感染制御、医療安全、基礎看護学

所属学協会
日本環境感染学会、日本防菌防黴学会、日本看護科学学会、神奈川県感染症医学会

専門分野・研究分野

看護職者の感染予防対策の取り組みに関する研究

看護ケアの三要素は、患者の「安全を守ること」「安楽をはかること」「自立を促すこと」である。そこで看護職者は、看護ケアの三要素が常に満たされるよう、看護実践をすることが求められる。しかしながら、時に患者の安全を守ることができない状況が起こる。その一つが、医療関連感染である。これは、医療をうけている人があらたな感染症を発症することである。そこでもし医療関連感染が起こると、患者の安全を守ることが未達成になっていることになる。それに加え、患者は安楽にもならず、自立も遅延する。その結果、看護ケアの三要素全てが満たされないことになる。そこで看護実践時は、常に医療関連感染防止をすることが求められる。

ほとんどの病原体は接触することで伝播していく。その一方看護ケアは、患者へ接触しないと成り立たない。加えて看護実践時は、点滴や注射針などの滅菌されている物品と、排泄物や血液など感染源と考えられている物質を、短時間で処置・処理することもある。そこで看護職者は、使用する物品や自らの手指が清潔なのかどうかを瞬時に判断し、常に清潔を保つ必要がある。しかしながら、高度な医療が求められている昨今は、短時間で複雑な看護実践が求められる。そのため、患者に接触する物質を常に清潔に使用していくことは、高度な課題である。

研究内容

看護職者が使用・管理する物品の感染予防の観点での検討

1. 医療用テープ

未滅菌の医療用テープは洗浄されたり消毒されたりすることは滅多にない。そこで、細菌汚染と管理状況の関連について検討した。6病院から提供された88巻の医療用テープを検討すると、テープの使用量が増えるほど検出される細菌総数が多くなる傾向が明らかになった。

2. 駆血帯

駆血帯の細菌汚染とその管理状況との関連性を検討した。日本の8つの病院の看護師から186本の駆血帯を収集した。管理状況は質問紙調査で実施した。定期的に消毒された止血帯からはほとんど細菌は検出されなかった。しかし、消毒されていない止血帯からは、ブドウ球菌、バチルス属、コリネバクテリウム属が検出された。また、汚染された止血帯を介して細菌が伝播することも実験的に確認した。

医療用テープ

駆血帯

シーズ・地域連携テーマ例
- 看護師が実践する感染対策
- 医療施設で使用される物品の清潔保持の評価

論文
- 新型コロナウイルスパンデミック期における感染管理と看護，伊藤道子，林俊治，日本防菌防黴学会誌48(9)、P.481-486，2020年9月

書籍等出版物
- 内藤俊夫，伊藤道子，林俊治他；新体系看護学全書　成人看護学⑨感染症／アレルギー・免疫／膠原病　第5版，メディカルフレンド社，2023.

講演・口頭発表等
- Bacterial transmission via medical adhesive tape used by nurses, Michiko Ito, Daisuke Araki, Kazuko Ishii, Noriko Ikeda, Nobuko Fukahori, Kumiko Morioka, Rie Suzuki and Shunji Hayashi, 9th International Asia pacific Society of Infection Control (APSIC 2019), Vietnam, Da Nang city., 2019年3月
- Bacterial transmission via phlebotomy tourniquets, Michiko Ito, Rie Suzuki, Kazuko ISHII, Noriko Ikeda, Akane Ninomiya, Yoriko Ueno, Yuko Umemura, Akie Shimada, Mami Sanada and Shunji Hayashi, The 17th East Asian Conference on Infection Control and Prevention (EACIC 2020), Japan, Kanagawa prefecture,Yokohama city., 2020年2月
- 母子保健事業で実施されたCOVID-19に対する感染対策のプロセス，伊藤道子，和智志げみ，新井陽子，第42回日本看護科学学会学術集会，2022年12月
- Michiko Ito, Akane Ninomiya, Kazuko Ishii, Mami Sanada, Akie Shimada, Noriko Ohno, Atsuhiro Kanayama, Shunji Hayashi: Bacterial contamination of holder bags to carry antiseptic hand rub bottles, The 19th Asia Pacific Society of Clinical Microbiology and Infection (APCCMI 2023) ABSTRACT BOOK, 225, 2023.

競争的資金等の研究課題
- 「クリーニング店に持ち込まれる衣類の微生物汚染に起因する感染事故リスクとその防止法の検討」厚生労働科学研究費補助金、健康安全確保総合研究分野 健康安全・危機管理対策総合研究2020-2022
- 「看護職者が管理・使用する物品を介した医療関連感染のリスクの検討」日本学術振興会科学研究費補助金、基盤研究（C）2020-2023
- 「クリーニング業の新業務形態の衛生学的安全性の検討および効果的な衛生 管理手法の確立」厚生労働科学研究費補助金、健康安全・危機管理対策総合事業2022-2023

社会貢献活動
- 千葉看護学会査読委員
- 神奈川県感染症医学会評議委員
- 特定行為研修管理委員会委員（加賀市医療センター）